

なぜ私たちは働くのか
—働く意義・喜びとは—

東京都足立区立第十中学校

第1学年出張授業資料

2017年9月20日(水)

11:35～12:25

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : なぜ私たちは働くのですか、働く意義は何だと考えますか。

A : 3つあると考えます。

(1)①「お客様のお役に立つため」に、私たちは働くと考えます。

②社会には、同じような問題をもっているお客様がたくさんいらっしゃいます。お客様のお役に立つことで、「社会のお役に立つため」に、私たちは働くと考えます。

(2)①「生活できるだけの収入を得るため」に、私たちは働くと考えます。

②せっかく働くのでしたら、「生活できるだけの収入」を目指したく思います。

(3)①働くことで、「自己実現」を図ることで。

②よりよく働く、よりよい仕事を目指すことは、より充実した生活や人生を目指すことにつながります。自分らしく、よく生きることにつながります。

Q 2 : お客様のお役に立つとは、どのようなことですか。具体的にお話ください。

A : (1)①すべての仕事には、お客様がいます。

②製品やサービスを提供する、お客様（顧客）がいます。

(2)①お客様が製品やサービスを購入するのは、自分の困っていることや自分一人ではなかなかできない問題を、解決してもらうためだといえます。

②ですから、働く、仕事をするとは、製品やサービスを提供することで、お客様の問題を解決することだといえます。

③お客様の問題を解決できなければ、製品やサービスとはいえません。お客様のお役に立つ、よい仕事をしたとはいえません

(3)①「価格」、値段が買いやすいことも大切です。

②便利な「場所」で提供されることも大切です。

③どのような内容かがよくわかる「宣伝・広告」も大切です。



Q 3 : 働く喜びとは何ですか。

A : (1) お客様の問題を解決することで、お客様のお役に立つこと、社会のお役に立つことです。

(2) 生活できるだけの収入を得ることができることです。

(3) よりよい製品やサービスを提供するために、みんなで、新しいことを学び、創意工夫を繰り返し、また、イノベーションに挑戦することです。

Q 4 : 仕事をしていて、大変なことは何ですか。

A : (1) 世の中が超スピードで変化し続けるので、お客様に提供すべき製品やサービスも変化し続けることです。

(2) 日本だけではなく、世界中に競争相手がいることに加え、新しい競争相手がどんどん出てくるので、グローバルな競争に勝ち抜かなければならないことです。

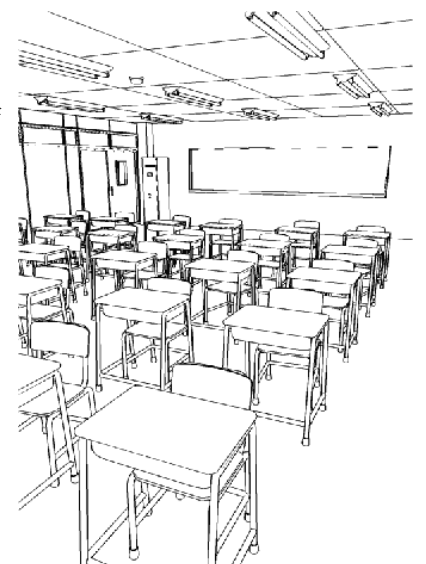
(3) 仕事はチームプレイなので、チームのメンバーが、仕事の上での能力を身に着けること、強力なリーダーが、メンバーとコミュニケーションをとり、リーダーシップを発揮することです。

Q 5 : なぜ私たちは勉強し、体を鍛え、社会に出る準備をして、やがて仕事に就くのですか。

A : (1) 小学校や中学校、高校、大学など、学校でよく勉強していることを基礎にして、すべての仕事が成り立っています。

(2) 読み書きや中学校での勉強が不十分ですと、お客様や社会のお役に立つ仕事をするのは難しいと思われます。

(3) 仕事をするには、体力や気力も欠かせません。



Q 6 : エッ、中学校の勉強は、社会に出て役に立つのですか、仕事をするときに役に立つのですか。

A : (1) 学校での勉強は、社会に出てすべて役に立ちます。仕事をするときにもすべて役に立ちます。

(2) ですから、学校の教科書や教材、ノートは決して捨てないですべて保管し、社会に出て仕事や社会的な活動をするときに、いつも見返し、学び直しをしてくださいね。一生かけて、繰り返し読み直しましょう。

(3) 教科以外の学校での教育活動も、社会に出て仕事をするときにすべて役に立ちます。しっかりやってくださいね。

Q 7 : 中学時代に身に付けておいたほうがよいことは何ですか。

A : (1) 「学び方」を身に着けること。

① 社会に出ても、勉強しなければならないことが、どんどんと山ほど出てくるからです。

② 「予習」と「復習」の仕方を身に着ける。

③ 「音読練習」「書き取り練習」「計算練習」の仕方を身に着ける。

(2) 「読解力」を身に着けること。

① 「読書」に励むこと。

・「書き抜き読書ノート」を。

② 「新聞」を毎日読むこと。

・「スクラップブック」を。

③ 「辞書」を毎日引くこと。

・「意味調べノート」を。



(3) 「5S」(ごえす)を身に着けること。

① 「整理」(seiri) 不要なものを捨てる

② 「清掃」(seisou) きれいに掃除をする

③ 「整頓」(seiton) ものと同じ場所に置く

④ 「清潔」(seiketsu) ①～③を継続する

⑤ 「躰」(shitsuke) 自分から進んで行う



(4)別の意味の「躰(しつけ)」も身に着けること。

- ①「美しい立居振舞い(たちいふるまい)」
- ②「敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)」

(5)「マナー」を身に着けること。

- ①「靴は、手でそろえる」
- ②「自分から、元気にあいさつ」
- ③「お先にどうぞ、After You(アフター・ユー)」
- ④「料理は、みんなの分がそろってから食べる」
- ⑤「お礼は、声を出してはっきり述べる」
- ⑥「自分が言われて嫌なことは、口にしない。自分がされて嫌なことは、しない」



Q 8 : 最後に一言、好きなことばをご紹介ください。

A : (1)「学問に王道なし」・ユークリッド

(2)「スポーツの3つの宝」

- ①「練習は不可能を可能にする」
- ②「フェアプレイ」
- ③「よき友」・小泉信三

(3)「一生勉強、一生青春」・相田みつを



ご清聴ありがとうございました。感謝いたします。

ご質問、ご意見あれば、ご自由にご発言ください。

2017年9月16日(土)13時10分